



会議録件名 “夢”まちプロジェクト推進会議（第5回）	主管課 町田市経済観光部産業観光課
日時 2017年5月18日（木） 午後1時30分～午後3時00分	場所 町田商工会議所
出席者 【委員】 大塚議長、井上副議長、米増委員、宮本委員、鈴木委員、戸田委員（平本委員代理） 【オブザーバー】 服部氏 【中心市街地活性化協議会事務局】 町田商工会議所 長尾氏、岸氏 まちづくり公社 岡崎氏、佐藤氏 【市事務局】 遠藤係長、岸本、栗原（産業観光課）	

（1）市から

〈2017年度市から中活協に対して協議を提案する取組について〉

- ・前回会議で提案した検討項目について中活協内で検討してもらえないか
→中活協で市の来年度予算要求も視野にいれて夏までを期限として検討を進める
- ・プロジェクト2の取り組みを「全体的に検討」するのか、「個別に検討」するのか
→中活協内部の検討体制や体力に合わせて整理して提案する
- ・中活協の今年度予算で行う研修内容について詳細が決まったら教えてほしい
→中活協で案が定まり次第、共有する

〈5/23 中活協議会での報告内容について〉

- ・夢まちPJ推進会議1回目～4回目の市からの報告内容をまとめたので、5/23にどのように協議会に出すか検討してほしい
→事務局で検討する

（2）中心市街地活性化協議会から

〈中活協の事務局等の体制について〉

- ・公社のアドバイザーが中活協の会議に出席し活性化推進に関するアドバイスをする体制となる

〈検討体制についてオブザーバーから〉

- ・これまでの中活協の意思決定プロセスを整理すると、会議体が多いこと、プロセスが複雑という印象がある
→今後は「意思決定プロセスの簡略化」や、会議前に公社・会議所・市で整理した上で会議を進めるなど、「戦略作り」が必要ではないか
- ・現状では、地元はそれぞれの想いでばらばらに動いてしまい、よりよいまちづくりにつながらない可能性がある
→中活協の活動指針となる「まちづくりの方針」を決めるとよいのではないか
- ・検討項目を絞って、まず地元を考えてもらうことが大切
→何か一つ突破できたら、進んでいる感じを権利者とも共有できるだろう

（3）その他

- ・ダンスクラブが6月に正式オープンシアルコールを提供することから、風営法が絡み、警察が関わるようになる可能性がある
→市の生活安全部署と調整して、情報を共有していく
→7/6と地元と警察の意見交換を行う予定
- ・本会議の第〇回の数え方は、年度ごとではなく、通算で数えることとする
- ・今後、会議の会議録公開をどうするかを検討したい
→町田市HPか中活協HPへの掲載を念頭に、中活協で検討し次回提案する